

久保山 勉 (教授)

研究内容キーワード：雑種弱勢、雑種強勢、遠縁交雑，突然変異誘発

● 植物における雑種の作成と利用に関する研究

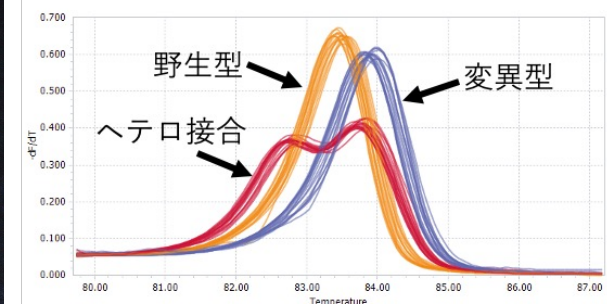
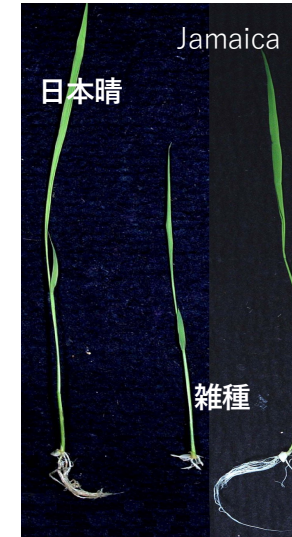
雑種第一代では両親の組み合わせによって両親のどちらよりも旺盛な生育を示す雑種強勢や逆に成長に異常が生じる雑種弱勢が現れることがあります。当研究室では，このように“雑種”で現れる成長の変化や，雑種を作成するときに直面する障壁についてイネやアサガオを用いて研究を行っています。

● DNAマーカーの開発と利用

作物のDNAマーカーを開発し，有用形質に関わる遺伝子の検出や品種識別法の開発を行っています。

● 放射線を利用した突然変異誘発技術の開発

これまで植物の品種改良では様々な突然変異が利用されています。当研究室では γ 線や中性子線などの放射線による突然変異誘発技術の開発に取り組んでいます。



上：アサガオと花色変異体
下：DNAマーカーによる遺伝子型判定

上：雑種強勢を示すイネ交雑組み合わせ
下：雑種弱勢を示すイネ交雑組み合わせ